

2019-20 CSR報告書

Think Globally, Act Locally



Think Globally, Act Locally

今年も私たちの情報開示のツールとして、また社会との接点としてCSR報告書を発行することができました。これもひとえに平素から私たちグループを支えてくださっている皆様に感謝と御礼を申し上げます。

最近では、中国が2018年1月より廃プラスチックの輸入規制を発動したことにより、世界中で廃棄物の処理が滞っており、日本国内においても、埋立場の枯渇、処理場の容量不足など、私たちの社会を取り巻く環境が、ここ1年～2年で大きく変動しています。

また、集中豪雨による被災や、記録的な猛暑、台風による甚大な被害と、私たちの生活に気候変動の危機を感じさせる事態が起こっています。全ての被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

このように世界中で日々、環境問題が大きく取り上げられている中、弊社が「SDGs」に取り組んでから3回目の報告書となります。1年目は私たちが未来に向けて取り組んでいく姿勢を「宣言」した年、2年目は私たちのサービスや活動をSDGsという世界基準に置き換えたときに、それぞれがもつ意味や、地域社会とのつながりという情報を「整理」した年と考えています。そして3年目の今回は、具体的に課題解決に取り掛かる「決意」の年と捉えています。そういう意味でも、今回の紙面には、SDGsの17の目標のカテゴリー分けで満足するのではなく、その先の169のターゲットについて、どのように取り組み、結果を出していくのかということに対して数値的検証も実行しています。2030年のゴールに向けて具体的な解決策を提示できるよう、更に務めてまいります。

また、今回は「Think Globally, Act Locally」という、地球規模で考え、地域から行動せよという原点回帰なコンセプトに立ち返りました。私たちKINKAN GROUPは、廃棄物の回収から始まり、中間処理業の取得、また資源化への取り組みと、時代とともに環境サービスの展開も変わってきました。そして令和元年、IoTやAIなどの技術でますます便利になる世の中において、持続可能性をもち、誰もが活躍できる社会の実現のためには、ひとが介在する温かいサービスが必要不可欠であると確信しています。

私たちのあゆみをこれからも止めないために
100年企業への挑戦は始まったばかりです。

代表取締役社長 西村 忠浩



PHILOSOPHY

理念



当グループでは、廃棄物の適正な処理やコンプライアンスの徹底、リサイクルの推進などに努め、環境への負担を減らしながら、お客様やステークホルダーの皆様へよりよいサービスの提供を目指しています。それには、労働環境の改善や福祉への取り組みを推進し、安心して楽しく働ける職場づくりに努めています。

また、当社では、社会貢献および教育活動に力を入れています。廃棄物処理のプロとして、地域社会のプロとして、地域社会と次世代へ良い影響をもたらすことができるよう、キンカングループだからこそできる取り組みを行っています。

基本理念

当社は、資源リサイクルと廃棄物の収集運搬及び、中間処理業を三本柱とし、適正に再資源化、処理を行ない、循環型社会の構築に努めます。人と地球に「E-COMMUNICATION PARTNER」というキーワードを基に、お互いがパートナーシップを築き、未来への可能性を広げて、私たちの地域社会や自然環境を愛する活動の実現と、自然との共生を目指します。

環境の



環境を最優先に
物事を運びます

感動の



感動がないと
人は動きません

改革の



改革なくして
発展はありません

サステイナブル55



創業 55 周年に発表したコンセプトロゴ 「サステイナブル 55」

『100年企業を目指して』

持続可能性と多様性を組織運営の両輪とし、湖国滋賀で商いをさせて頂けることへの感謝と近江商人の「三方よし」の精神をもって、お客様や取引先、社会にとって必要とされる企業であり続けるために、という思いを込めています。

DATA

会社情報

会社概要

会社名	近畿環境保全株式会社
代表者	代表取締役社長 西村 忠浩
資本金	1,600万円
所在地	本社・管理部 / 滋賀県草津市青地町 196 番地 営業本部 / 滋賀県草津市野村 1 丁目 3 番 2 号 SK キューブ 2-B 環境事業部 / 滋賀県湖南市石部口三丁目 6 番 13 号



沿革

- 1962年 創業者の西村裕司が「西村商店」として京都市内で廃棄物回収の事業を始める。
- 1975年 近畿環境保全株式会社に設立。
- 1994年 滋賀県で産業廃棄物中間処理業の許可を取得。破砕機と焼却炉で事業を開始。
- 1998年 中間処理業の許可に品目追加。
【廃プラスチック類と感染性廃棄物の焼却】
- 2001年 「有限会社新生」を設立。
プラスチックリサイクル事業に本格的に乗り出す。
- 2002年 湖南市に「近畿環境保全株式会社 石部リサイクルセンター」を竣工、2003年より本格的に事業開始。
- 2005年 京都市における一般廃棄物収集運搬業を分社し、有限会社ラゴを設立。石部リサイクルセンターを別法人に分社化、「株式会社湖南リサイクルセンター」として現在に至る。この時に子会社の新生も合併。総合リサイクルセンターとして事業拡大。
- 2008年 株式会社さびらを設立し、5月より廃木材をチップ化しリサイクルする新工場を竣工。
- 2009年 西村忠浩が近畿環境保全株式会社の代表取締役社長に就任。西村裕司が近畿環境保全株式会社の代表取締役会長に就任。株式会社さびらの木材チップ製造施設を株式会社湖南リサイクルセンターに譲渡。湖南リサイクルセンターにおいて、木くずの破砕施設許可を追加取得。
- 2012年 創業50周年事業を行う。
- 2013年 食品リサイクル施設「F.R.O.Gセンター」を竣工。
- 2017年 創業55周年を迎える。営業本部を湖南リサイクルセンター内から、草津市野村へ移設。
- 2018年 キンカンビジネスアソシエイツ株式会社を設立。

CSR活動のあゆみ

- 2005年 ISO14001 認証取得
- 2006年 廃植物油の回収・BDF プロジェクト開始
- 2007年 小学校における環境学習の開始
びわ湖環境ビジネスメッセ参加開始
- 2008年 社内環境ポイント制度開始
カーボンオフセット開始(内モンゴルにて植林) ※ 2017年度終了
- 2009年 環境報告書の第一号を発行
琵琶湖森林づくりパートナー協定
エコキャップ推進運動開始・愛する地球のために約束する協定
滋賀グリーン購入ネットワーク入会
グリーン電力を3年間利用
- 2010年 ヨシでびわ湖を守るネットワーク参加
循環型社会創造研究所えこらとの協同事業開始
滋賀レイクスターズ支援開始
- 2011年 いしへ共働作業所 障がい者雇用開始
- 2013年 コナン市民共同発電所へ出資
- 2014年 太陽光発電パネル設置
- 2015年 琵琶湖森林づくりパートナー協定 5年間延長
- 2016年 中間処理棟へLED照明の導入
- 2017年 滋賀ユナイテッドベースボールクラブのスポンサー活動開始
草津宿場まつり かごかきレースに参加
- 2018年 NPO法人国際ボランティア学生協会 ivusa 主催の外来水生植物の除去活動に参加
ヨシ灯り展に参加
- 2019年 森林づくりパートナー交流イベント開催



受賞歴

- 2011年 第3回草津市地球温暖化防止大賞 優秀賞 受賞
第2回しが低炭素リーダー賞 受賞
- 2012年 第4回草津市地球温暖化防止大賞 優秀賞 受賞
- 2014年 公益社団法人 全国産業廃棄物連合会
青年部協議会 CSR2 プロジェクト
コンプライアンス部門 受賞 社会貢献部門 受賞

KINKAN GROUP について

▶ グループ詳細はP23～

廃棄物の運搬、処理を手がける『近畿環境保全株式会社』を中心とし、京都市一般廃棄物許可を有する『有限会社ラゴ』、県下最大級の処理能力をもつ中間処理工場の『株式会社湖南リサイクルセンター』、グループの雇用や福利厚生サービスなどを幅広く展開する『キンカンビジネスアソシエイツ株式会社』の4社体制で事業展開をしています。

SDGs Project

SDGs 推進プロジェクト ～グループの繋がりをカラフルに～

持続可能性と多様性を兼ね備えるKINKAN GROUPを実現するために、活動指針であるSDGsの周知や会社イメージの構築、社内コミュニケーションの活性化、採用活動等に携わっています。



SDGsとは？

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。（外務省HPより）

KINKAN が SDGs に取り組む理由

持続可能な社会の構築に貢献するには、当グループが未来永劫、地域に愛され、社会に必要とされる企業として存在し続けることが不可欠です。そのための指標としてSDGsがあると考えています。

グローバルな視野で物事を判断する力を持ち、ローカルで行動を起こし、結果を残せる人間力豊かなスタッフが溢れるグループへ成長していくために、SDGsを取り入れています。

KINKAN の実施状況

▶ 詳しくはP6-21へ

■ 経済



当グループの本業では、廃棄物の適正な処理やコンプライアンスの徹底、リサイクルの推進などに努め、環境負担を減らします。さらに、性別や障がい、国籍などにとらわれず、誰もが安心して働ける職場づくりを行います。

■ 社会



誰もが安心して働けるようにスタッフ全員の健康管理や研修に力を入れ、社外では次世代への環境教育に携わっています。再生可能なエネルギーへの投資や適正な廃棄物管理によって住み続けられるまちづくりへ貢献していきます。

■ 地域環境



自然環境を守ることは不可欠であり、びわ湖や水源である森林、水を浄化してくれるヨシの保全活動に参加しています。気候変動に伴う環境への適応に備えて当社における水害対策を充実させています。

本報告書で開示する情報の項目は、「ゴールとターゲットの分析 (Analysis of the Goals and Targets)」を参考にしています。(https://www.idcj.jp/sdgs/download/)



プロジェクトの発足意図

▶ 詳しくはP5へ

持続可能で多様性のある会社にしていくためにSDGs推進プロジェクトチームを結成しました。会社における持続可能とは「全ての社員が心身ともに健康に生活でき、会社を運営し続けられること」であり、多様性とは「誰でも活躍できる職場づくりに努め、それぞれの働き方を尊重すること」であると私たちは考えています。

広報活動
SNSの実施



イベント活動実績



ヨシ灯り展 (9月30日)

滋賀県の近江八幡市にある西の湖にて開催されたヨシ灯り展に出品しました。冬に刈り取ったヨシをノートや名刺の原料だけでなく、アート作品の材料にしています。ヨシの隙間から見える灯りと琵琶湖の恵に触れることで、琵琶湖を考える機会になっています。



森林づくりパートナー交流イベント (3月7日)

琵琶湖森林づくりパートナー協定を結んでいる三雲生産森林組合と近畿環境保全株式会社との活動の一環として、自然と親しみながら街との繋がりを考えるイベントを運営しました。当イベントでは椎茸の植菌をはじめ、森の中ならではの体験ができるように企画し、社員の子もたちも楽しんで参加してくれました。



チームメンバーコメント 田中 万葵 (営業部 マーケティングチーム)

森林整備やヨシ刈りなど継続している活動を集約しながら新しい要素を取り入れ、キンカングループらしさを出すにはどうすればいいのか。いつもそんなことを考えています。初の試みが多く頭を抱えることもありますが、その分成長を自覚しやすく、チームメンバーと楽しみながら活動しています。

SDGsチーム 実務内容



社内環境整備
(社内用webサイト作成など)



社内報発行 (年4回)



環境イベントの企画



地元小学校への出張授業

詳しくは
P10へ



社内イベントの企画

詳しくは
上部へ



採用活動



社外イベント・講習への参加

6 安全な水とトイレ
を世界中に



【ターゲット】

- 6.6 2020年までに、山地、森林、湿地、河川、帯水層、湖沼を含む水に関連する生態系の保護・回復を行う。
- 6.b 水と衛生に関わる分野の管理向上における地域コミュニティの参加を支援・強化する。

森林整備 6.6 15.5

2009年より続けている森林整備活動は10年目になり、2018年度には三雲生産森林組合の皆さんとともに下草刈りを行いました。森林が元気になることにより、その森のCO₂を吸収する機能も向上し、地球温暖化防止の効果も上がります。協定による森林整備の内容を毎年滋賀県庁森林政策課に報告し、滋賀県知事よりCO₂吸収証書を受領しました。

2018年度のCO₂吸収量は99.22tでした。協定を結んだ2009年から2018年まで、合計500tのCO₂削減に貢献できました。



2018年度
99.22t
CO₂削減

森林づくりの活動場所の所在地

- ① 滋賀県湖南市三雲字大納言 2158,2158-54
- ② 滋賀県湖南市三雲字赤禿 3353-1
- ③ 滋賀県湖南市三雲字鳥ヶ嶽 3355-1

広さha：12.41ha

整備した森林のCO₂吸収量：2018年度のCO₂吸収量は99.22t



琵琶湖森林づくりパートナー協定 17.17

「琵琶湖森林づくりパートナー協定」とは、湖南市の三雲生産森林組合と大津市の株式会社服部モータースと共に結んだ協定であり、森林づくりにかかる費用と労働力を提供し、作業を行っています。琵琶湖の水源である森林を整備することにより、豊かな森と安全な水を守るように努めていきます。



外来魚駆除 6.6 15.8

琵琶湖の生態系を脅かすブラックバスやブルーギルを除去し、固有種の生態系を守り続けていくために2015年から毎年開催される「外来魚駆除釣り大会」に当グループも参加しています。2018年度も「外来魚駆除大会」に参加し、合計452匹の外来魚を駆除しました。駆除した外来魚は能登川漁業協同組合を通して肥料化されます。

合計
452匹
外来魚捕獲

外来魚釣果数

2018年6月9日 伊庭内湖外来魚釣り大会
参加者：156名
ブラックバス：0匹
ブルーギル：452匹



【ターゲット】

- 15.5 自然生息地の劣化を抑制し、生物多様性の損失を阻止し、2020年までに絶滅危惧種を保護し、また絶滅防止するための緊急かつ意味のある対策を講じる
- 15.8 2020年までに、外来種の侵入を防止するとともに、これらの種による陸域・海洋生態系への影響を大幅に減少させるための対策を導入し、さらに優先種の駆除または根絶を行う。

15 陸の豊かさも守ろう



ヨシでびわ湖を守るネットワーク 6.6

2010年より毎年参加している「ヨシでびわ湖を守るネットワーク」の活動を2018年度も継続し、ヨシ刈りに参加しました。ヨシを刈りとることにより、ヨシの水浄化機能の向上とヨシの有効利用も推進しています。



外来水生植物除去 6.6 15.8

2018年からNPO法人国際ボランティア学生協会ivusaと協力し、琵琶湖の外来水生植物の除去活動に参加しています。オオバナミズキンバイおよびナガエツルノゲイトウ等の外来水生植物は繁殖力が非常に強く、水生動物の生息環境の悪化や水害のリスクが懸念されています。在来種が住みやすい環境を整え、琵琶湖の生態系保護に貢献しています。

除去量
23.5t



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



【ターゲット】

7.2 2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。

7.3 2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。

再生可能エネルギー **7.2**

▶P28-29もチェック！

当社F.R.O.Gセンター内の洗車場施設に約12kwの太陽光パネルを設置し、太陽光発電を行っています。2018年度の発電量は13,351 kWhでした。これによりおよそ4.2tのCO₂を削減しました。2013年度に地元の湖南省市における市民共同発電所式号機に出資しました。出資者として地域の再生可能なエネルギー作りに参加しながら地域の活性化を応援しています。2018年度の発電量は114,919 kWhでした。



発電量
13,351
kWh

F.R.O.Gセンター太陽光パネル発電量
13,351 kWh (4.2t CO₂削減)

発電量
114,919
kWh

市民共同発電所式号機発電量
114,919 kWh

LED 照明の使用 **7.3**

▶P30-31もチェック！

低炭素社会への取り組みとして、湖南リサイクルセンターと営業本部にて全水銀灯を長寿命のLED照明に交換しました。



【ターゲット】

13.1 全ての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靭性（レジリエンス）及び適応の能力を強化する。

13 気候変動に
具体的な対策を



BCP 協定（事業継続計画協定） 13.1

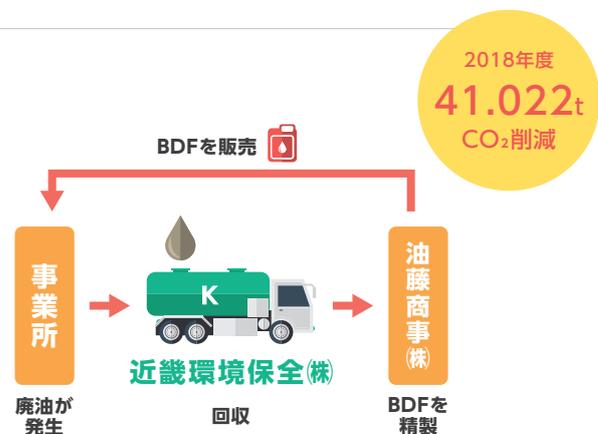
当グループは全国の優良な廃棄物処理業者を繋ぐエコスタッフジャパンの認定企業です。BCP協定とは、「自然災害や不可抗力」により事業活動が継続困難な状況に陥った際に全国の認定企業が相互に支援し合う協定です。認定企業39社によるBCP協定を環境省立ち合いのもと締結しています。



BDF プロジェクト 13.1

地域における循環型社会を目指し、2006年度から廃植物油を回収しています。回収した廃植物油は油藤商事株式会社にてバイオディーゼル燃料（BDF）へ精製してもらい、地域のクリーンエネルギーとして利用されています。BDFは二酸化炭素を排出しない「カーボンニュートラル」な燃料として地球温暖化防止に寄与します。地域の循環型社会構築のプロジェクトとして協力会社と共に取り組んでいます。

2018年度は15,900ℓの廃植物油を回収しました。パーজন燃料の代わりにBDFを使用することにより、41.0tのCO₂削減に繋がりました。



【ターゲット】

14.2 2020年までに、海洋及び沿岸の生態系に関する重大な悪影響を回避するため、強靭性（レジリエンス）の強化などによる持続的な管理と保護を行い、健全で生産的な海洋を実現するため、海洋及び沿岸の生態系の回復のための取り組みを行う。

14 海の豊かさを
守ろう



プラスチックスマート 14.2



ポイ捨てなどにより、回収されずに河川などを通じて海に流れ込む「海洋プラスチックごみ」が日々発生しています。「プラスチック・スマート」は、この海洋プラスチックごみと向き合う取り組みのことを指します。世界中で大量に発生する海洋プラスチックごみは長期にわたって海に残り、このままでは2050年までに魚の重量を上回ることが予測されるなど、地球規模での環境汚染が懸念されています。

こうした問題の解決に向けて、当社では各事業所から排出されるペットボトルを集めて処理し、リサイクルしています。廃棄されるペットボトルの削減と循環型社会の形成に貢献しています。

4 質の高い教育を
みんなに



【ターゲット】

4.3 2030年までに、全ての人が男女の区別なく、手の届く質の高い技術教育・職業教育及び大学を含む高等教育へ

4.7 2030年までに、持続可能な開発のための教育及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴
促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。



子ども向けの環境学習を実施しています **4.7**

持続可能な社会を実現するためには、未来の世代に健全な地球環境や資源を残すだけでなく、環境保全の重要性を後世に伝えていく必要があります。子どもの頃から社会で起こっている問題や環境の大切さについて学ぶことで、1人1人に普段の生活の中で「つかう責任」を、さらに将来社会を担うようになった時には「つくる責任」を意識してもらいたいです。

「地域社会に根ざす廃棄物処理業者」である当社ならではの体験型の授業を行っています

① リサイクルクイズ



クイズ形式でゴミの種類や分別方法、リサイクルについて知識を深めていきます。

廃植物油の精製の仕組みを見学したり、プレスした缶やプラスチックインゴットなどに触れたりすることで、リサイクルを肌で感じてもらいます。



② 分別体験



クラスみんなで話し合いながら、ゴミを分別する体験ゲームをしてもらいます。



③ 積み込み体験



廃棄物の回収はどうしているのか、ドライバーはどのような仕事をしているのか。

実感してもらうために、車両にごみを積み込む作業を体験してもらいます。



の平等なアクセスを得られるようにする。

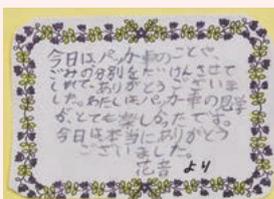
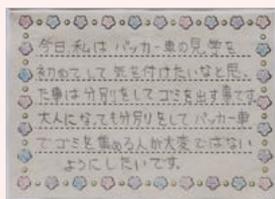
力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を

出張授業 4.7

合計
10校
実施

訪問実績

- 2011年 三上小学校
- 2012年 草津小学校、治田小学校、(レイクスキャラバン) 三上小学校、守山養護学校
- 2013年 三上小学校
- 2014年 菩提寺小学校、三雲東小学校、三上小学校、吉身小学校、物部小学校、青山小学校
- 2015年 三雲東小学校、三上小学校
- 2016年 三上小学校、三雲東小学校
- 2017年 三上小学校
- 2018年 三上小学校、八日市養護学校



冬季インターンシップ 4.3

2019年2月13日に当社営業本部にて、冬季1Dayインターンシップを初開催いたしました。「環境とSDGs」をテーマに、セミナーやグループディスカッションを実施。13名の学生の参加がありました。

インターンシップの開催を通して、学生たちが社会に出るにあたり、よりよい将来を選択できるように社会について学べる機会を提供したいと考えています。



参加学生
13名



スタッフコメント **南 春菜** (営業部マーケティングチーム)

環境学習に参加する中で、子どもたちからかなり踏み込んだ内容の質問を受けることもあり、とても驚きました。子どもたちの環境への意識の高さを感じたのと同時に、私にとっても環境学習が学びの場なのだと感じました。これからも、子どもたちに環境について興味を持ってもらえるような授業にしていきたいと思います。そして、そのためにも私自身が成長していきたいです。



【ターゲット】

8.2 高付加価値セクターや労働集約型セクターに重点を置くことなどにより、多様化、技術向上及びイノベーションを通じた高いレベルの経済生産性を達成する。

スタッフのスキルアップ **8.2**

●社内研修

当グループはISO14001を取得しています。スタッフ全員に目的目標を共有し達成する為、四半期に1度、ISO勉強会を実施しスタッフのスキルアップと目標達成に努めています。また、リスクアセスメントに関する勉強会を年に2回、消防に関する訓練は年に1回、グループ各社にて実施しています。

延べ
74名
社内研修
受講者数

●社外研修

全国の優良な廃棄物処理業者を繋ぐエコスタッフジャパンの研修に積極的に参加しています。セールス研修においては法律やビジネスマナーを学び、ドライバー研修では安全運行について学びます。その他には労働安全衛生研修、法務研修、合同施設見学会等があります。研修だけでなく、セールスとドライバーには検定制度もあります。これによりお客様により良いサービスを提供できるようになります。

その他には公益財団法人産業廃棄物処理振興財団主催の経営塾、帝国データバンク主催の研修、公益社団法人大阪府産業資源循環協会の廃棄物管理士等を受講しています。

延べ
26名
社外研修
受講者数



取得資格
2018年度実績

1名
ESJ
優良セールス

3名
廃棄物
管理士

2名
特定化学物質
及び四アルキル
鉛等作業主任者

人事評価制度 **8.2**

新しくAIを利用した“人事評価クラウドシステム”を導入しました。現在までは給与、賞与、昇進を直属上司の評価にて行っていました。新しいシステムでは会社からの数値目標だけでなく、各個人が行動目標を設定し業務を遂行します。これにより評価の透明化と数字による明確化がなされました。各個人での行動目標を設定することにより自覚と責任感が生まれ、職場環境の改善と顧客サービスの充実、売上、利益の増加に繋がっています。

【ターゲット】

- 10.2 2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、全ての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する。
- 10.3 差別的な法律、政策及び慣行の撤廃、並びに適切な関連法規、政策、行動の促進などを通じて、機会均等を確保し、成果の不平等を是正する。

10 人や国の不平等をなくそう



就労支援団体との連携

当グループは就労支援団体と連携し、作業所の利用者の方々が安心して働ける安全な職場を提供しています。今年も「しあわせ作業所」様との連携を継続し、資源循環センターにて分別作業などの仕事を共にしています。また、「就労支援センター ルミエル」様と「さつき作業所」様とも引き続き連携し、F.R.O.Gセンターにて処理前の準備作業を共にしています。

キンカングループはダイバーシティの実現を目指しています。そのためには、性別や障害、国籍などにとらわれず、誰でも活躍できる職場づくりに努めることが不可欠です。普段なかなか作業についていないのに、キンカンの作業だけは上手くこなしてくれる利用者もおられます。自分のペースで主体的に作業に取り組める環境なので、キンカンを選んでくれているそうです。このように、誰もが楽しく働ける場を提供できるように、今後も心がけていきます。

しあわせ作業所



【NPO 法人ネットワーク滋賀】しあわせ作業所の皆さんとは2014年度より活動しています。2018年度は1日4～5名の利用者が作業されています。

【スタッフコメント：福田充子】

この仕事はきつい時もありますが、やりがいのあるお仕事です。ペットボトルを選別する時は、中腰になるので腰が痛くなります。発泡スチロールを溶融機に投入する時は、ストレス解消になります。また、夏場はニオイがつよいし、冬場はとても寒いです。でもとても楽しくやっています。近畿環境保全の人とも楽しくやっています。これからもよろしくをお願いします。

【スタッフコメント：小西賢一】

雨の日も雪の日も、暑い日も寒い日も仕事をやります。ペットボトルの仕分け、ビンの仕分けそして発泡スチロールの粉碎など、仕事を親切に指導していただきありがとうございます。とてもやりがいのある仕事です。これからもよりいっそう頑張りたいと思いますので、よろしく願いいたします。

さつき作業所



キンカングループが共同作業をしている作業所では、就労継続支援(B型)を行なっています。就労経験のある障がい者に対し、就労の機会を提供するとともに、生産活動に必要な知識や能力を向上するために訓練を実施しています。

【スタッフコメント】

F.R.O.Gセンターでの仕事は、大変でしたがとても貴重な経験となりました。キンカンのスタッフの方々には、色々ご配慮いただいたことで、大変ながらも続けることができました。ここで得た経験を活かして、これからも様々な仕事にチャレンジしていこうと思います。ありがとうございました。

就労支援センター ルミエル

ルミエルは障害者総合支援法に基づく就労移行支援サービスであり、利用者の日常支援と社会生活支援を行なっています。2年間の社会生活訓練の中で、企業体験も実施されています。キンカングループはその企業体験に協力し、利用者の方々のコミュニケーション能力を高め、労働経験を積んでいける訓練を応援しています。現在、毎日約5～10名の方々と一緒に作業しています。



2018年度 作業者数

- しあわせ作業所.....5名
- さつき作業所.....8名
- 就労支援センター ルミエル.....15名

3 すべての人に
健康と福祉を



【ターゲット】

- 3.4 2030年までに、非感染性疾患による若年死亡率を、予防や治療を通じて3分の1減少させ、精神保健及び福祉を
- 3.8 全ての人々に対する財政リスクからの保護、質の高い基礎的な保健サービスへのアクセス及び安全で効果的かつ質
- 3.9 2030年までに、有害化学物質、並びに大気、水質及び土壌の汚染による死亡及び疾病の件数を大幅に減少させる。

健康診断の実施 3.4

社員全員が健康的な生活を送れるように、毎年2月にグループ全社員を対象とした健康診断を実施しています。持続可能な社会の構築のためには、社員一人ひとりが健康及び福祉において十分な生活水準を得ることは欠かせません。

さらに、親や保護者が健康であれば育児において最適なケアができると考え、社員の健康と福祉を通して子どもの福祉にも貢献しています。



労働災害及び労災保険の実績 3.8

当グループは廃棄物処理のための重機や処理機を保有しており、社員の事故やケガ等のリスクも多く存在しています。労働災害が起こらない職場を目指していますが、万が一の事態に備えて労働災害保険制度を整えています。2018年度に湖南リサイクルセンターで1件、前年2017年度に1件の労働災害が発生し、対象社員へは補償・給付を行いました。スタッフとその家族の生活を守るため、再発予防のためにも状況や原因を確認して安全で働きやすい職場づくりに注力しています。



2018年度

1名
労災実績

2018年5月～2019年4月 1名

湖南RC：療養補償給付・休業補償給付ともにあり

2017年度

1名
労災実績

2017年5月～2018年4月 1名

療養補償給付のみ

安全な職場づくり 3.9

作業員の安全と健康を考え、工場内の設備やスタッフの安全装備を整えています。

粉塵対策のため、ミスト散布システムの導入している他、スタッフ1人ひとりに防塵マスクを支給しています。また、熱中症対策として今年度から空冷ファン付きの作業服を導入しました。工場内には大型送風機を新調し、作業員が安全かつ健康に働ける環境づくりを行っています。



促進する。

が高く安価な必須医薬品とワクチンへのアクセスを含む、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）を達成する。

スポーツチームスポンサー 3.4



滋賀レイクスターズ
2010年からプロバスケットボールチーム「滋賀レイクスターズ」のスポンサー活動を行っています。



滋賀ユナイテッドベースボールクラブ
2018年からプロ野球独立リーグチーム「滋賀ユナイテッドベースボールクラブ」のスポンサー活動をはじめ、試合会場のごみ回収を行っています。

キンカングループでは様々な試合・イベントにおいてごみの分別を行うことにより、スポンサー活動だけではなく、来場者とともに出来る環境活動を行っています。環境活動を継続することで会場の環境美化のみならず、来場者のごみの分別やリサイクルに関する意識向上に繋がります。



イベントでのごみ回収
毎年行われている「牛肉サミット」や「イナズマフード GP in 草津」などのイベント会場にてごみの分別回収を行っています。

【ターゲット】

5.1 あらゆる場所における全ての女性及び女兒に対するあらゆる形態の差別を撤廃する。



育児休暇 5.1

当グループは仕事と家庭の調和を大切にすることを「基本行動原則」に掲げています。育児休業を利用できるようにし、仕事と家庭を両立しやすい職場づくりに努めています。また、パートタイムスタッフを積極的に採用し、育児をしながら仕事をする女性スタッフを応援しています。年々、女性社員、女性パートさんが増えています。

3名
取得者人数

3回取得：1名
2回取得：1名
1回取得：1名
※2010.5からの実績です。





【ターゲット】

- 12.4 2020年までに、合意された国際的な枠組みに従い、製品ライフサイクルを通じ、環境上適正な化学物質や全て
- 12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。
- 12.6 特に大企業や多国籍企業などの企業に対し、持続可能な取り組みを導入し、持続可能性に関する情報を定期報告
- 12.8 2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情

電子マニフェスト 12.4

【電子マニフェストでマニフェスト運用を簡単に！】排出事業者は、マニフェスト（管理票）を使用して、委託した産業廃棄物が最終処分まで適正に処理されたかどうかを確認することが義務付けられています。当社では、手間をかけずにマニフェスト運用ができるように電子マニフェストを導入しております。

手間は省き、コンプライアンスは強化する！

電子マニフェストは情報処理センターで保存・保管されるため、紛失の心配がありません。また、毎年行政へに提出することが義務付けられている産業廃棄物管理票（マニフェスト）交付等状況報告も情報処理センターが行ってくれますので、自ら報告する手間が省けます。

面倒な事務作業は全てお任せ！

「マニフェスト運用ってどうしたらいいのかわからない」「事務作業が面倒」という方もご安心ください。マニフェスト登録にかかる事務作業は当社が代行いたします。

電子契約 12.4

【電子契約で契約締結までをスピーディに！】廃棄物処理を業者に委託する際には、委託契約書を締結することが法律で定められています。また、契約書は契約の終了日から5年間保管しなければなりません。そこで、契約締結までの手間を省き、クラウドで簡単に契約書管理ができる電子契約を導入しております。

① メール受信

契約内容の承認依頼のメールが届きます



② アクセス！

メールに記載されたURLにアクセスします



③ 契約締結

契約内容を確認し、問題がなければ「承認」ボタンをクリック



● 保管・管理を簡単に

締結した契約書はお客様専用ページのクラウドで保管できるので、場所をとりません。さらに、検索機能で見たい契約書がすぐに見つかります。また、許可証の更新があるとメールで通知があり、webからダウンロードすることができます。

● ペーパーレス

契約書を紙から電子データに変えることで、印刷用紙やインクなどの使用量を減らし、環境への負担軽減に繋がっていきます。

● セキュリティも万全

電子押印が完了すると、唯一無二の文書である証明としてアマノスタンプが付与され、改ざんを防止します。

● 時間の短縮

webサービスを使用するため、契約書を郵送するよりも早く契約が締結できます。

工場見学・処分地視察 12.8

● 工場見学

廃棄物処理についての情報をお客様に提供する事は勿論、お客様自身の目で、処分地を確認する事が出来ます。ご要望があれば、最終処分地、協力業者への視察をコーディネートいたします。また、研修や環境学習のための工場見学も行っています。

● 処分地の確認

お客様から安心して処理を任せただけのように最終処分地に赴いての視察を行います。お客様にご提案するのは、処理の適正さと信頼性の確認が得られた最終処分地のみとなっています。

の廃棄物の管理を実現し、人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減する。

に盛り込むよう奨励する。
報と意識を持つようにする。

環境イベント出展 12.6 12.8

●びわ湖環境ビジネスメッセ

「環境と経済の両立」を基本理念にし、持続可能な経済社会を目指している「びわ湖環境ビジネスメッセ」に2018年度も出展しました。ご来場の皆様に環境経営の大切さを伝え、安心・安全で、環境に配慮したサービスや当社のSDGs目標への取り組みを紹介しました。

びわ湖環境ビジネスメッセは、まさに「つくる責任・つかう責任」を持っているステークホルダーの集まりであり、このように情報交換や交流することによりSDGsの目標12に非常に大きな影響を与えています。キンカングループではこの場を最大限に利用し、滋賀県の社会づくりに役立つ事業の発信、展開を行います。

「びわ湖環境ビジネスメッセ」ではお客様や地域の方々とは交流する場だけではなく、若手社員の研修の場でもあります。毎年若手のスタッフが中心となり、出展準備と企画を行い、当日は先輩とともに会社の事業活動の説明や接客対応をしています。このような機会を設けることにより、若手社員の成長や働きがいに繋がっていきます。



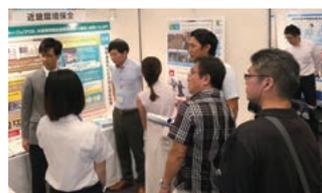
●草津市エコフォーラム

2018年7月25日草津市役所において、環境問題や取り組みなどの最新情報に関する講演会と展示会が開催されました。当社は2011年から毎年出展しており、今年も地元の会社や行政、一般の方々とは交流する良い機会になりました。



●しがぎんエコビジネスマッチングフェア

2018年7月11日琵琶湖ホテルにおいて滋賀銀行主催の「しがぎんエコビジネスマッチングフェア2018」が開催されました。当社もSDGsに貢献する社会的課題解決に取り組む企業の一員として参加しました。



●KINKAN セミナー

当社では3ヶ月に1回「KINKAN セミナー」を開催しています。既存のお客様への新たなご提案はもちろんのこと、新規のお客様に対しても当社のサービスを知ってもらうことができます。これにより、排出事業者の廃棄物に関する知識と理解を促進しています。



グリーン購入ネットワーク 12.5 12.8

当グループは2009年度よりグリーン購入ネットワークの会員になっています。文具や事務用品を購入する際には、可能な限り環境配慮型商品を選択しています。この5年間のグリーン購入率は毎年8割を保持し続けています。



11 住み続けられる
まちづくりを



EMS 環境マネジメントへの取り組み

ISO14001 目的・目標

持続可能な社会を実現するには、事業活動が社会や自然に与える悪影響を抑えることが必要です。当グループでは、事業活動による悪影響を軽減するために ISO14001 に取り組んでいます。当グループが社会や自然に与える影響を明確にし、悪影響を及ぼす問題に対して自ら目標を立てて解決していく仕組みを作っています。

2017 年度より 3 年間という期間を設け、6 つの目標達成を目指しています。



目標
達成

環境ポイント運動

13,430pt

【目標】13,000pt以上獲得

スタッフ全員で
資源物回収運動を行っています。

社員に缶、ペットボトル、新聞などの資源物を家庭から収集してもらい、個数や重さに応じてポイントを付与しています。他にも、環境に関するイベントや清掃活動に参加することでもポイントが与えられます。毎年、最も積極的に参加した 20 名の社員を表彰するなど、社員の士気を高めています。2018 年度の目標はスタッフ全員で合計 13,000 ポイントを獲得することでした。実際集まった環境ポイントは 13,430 ポイントとなり、目標を達成することができました。



目標
達成

低公害車両の導入

2018年度 4台目購入

【目標】エコ車両への買い替え3年間で3台

環境への負担を減らすため、車両の
購入も低公害車両を導入しています。

当グループの業界では運搬車両が不可欠です。そこで、排出ガスや燃料消費等の車両による環境への負担を減らすように努めています。ISO14001 では、古くなった車両を低公害車両に買い替えることを目標に設定いたしました。2017 年度に注文した 1 台を含め、2018 年度には 4 台目の低公害車両を導入し、目標を達成いたしました。



目標
達成

情報ポイント

149件

【目標】情報発信活動111件

営業部での
情報発信を推進しています。

営業部では、当グループの情報を CSR 報告書やホームページ、SNS、産廃情報ネット（さんぱいくん）などを通して情報発信を行っています。2017 年度の実績は 90 件で目標の 111 件には届きませんでした。しかし、2018 年度は前年度より増加して 149 件となり、目標を達成いたしました。お客様やステークホルダー、地域の方々に対して幅広く発信することで、当グループの良さやお客様に役立つ情報を発信していきます。

環境活動方針

- 1 廃棄物を資源と認識し、適正に再資源化、再利用、再生利用、処理することに努めます。
 - ① 資源の有効利用と、社内から出る廃棄物の分別及び資源ごみの再資源化に努めます。
 - ② 中間処理後の産業廃棄物のリサイクル向上に努めます。
- 2 地域に根ざした環境事業の推進で、地域社会の貢献に努めます。
- 3 環境関連法規制・条例及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
- 4 事業活動から生じる環境負荷を低減するため、具体的な環境目的及び目標を定め、環境マネジメントシステムを継続的に改善することにより環境汚染の予防に努め、環境保全活動を推進します。
- 5 全構成員が、環境保全事業に従事する自覚を持ち、常に環境に配慮した行動を心がけるよう周知し、環境に関する教育及び啓蒙を推進します。
- 6 本方針を実行し、維持し文書化して、全構成員に周知徹底するとともに、社外にも情報開示します。

2017 年 5 月 1 日 代表取締役社長 西村 忠浩

【ターゲット】

11.6 2030年までに、大気質及び一般並びにその他の廃棄物の管理に特別な注意を払うことによるものを含め、都市の一人当たりの環境上の悪影響を軽減する。



最終処分場、
再中間処理先の開拓

5件

【目標】3年間で契約2件以上



食品廃棄物
搬入量の増加

1,225t

【目標】食品廃棄物搬入量を715tにする



「KINKAN よくなるプロジェクト」
課題抽出の推進

1件

【目標】1件以上

安定的な処分先の確保に
取り組んでいます。

新しい最終処分場や再中間処理先を追加することにより、安定的な廃棄物処理をお客様に提供します。2018年度の実績は2件で、2017年度と合わせると5件の処分先を追加することができました。

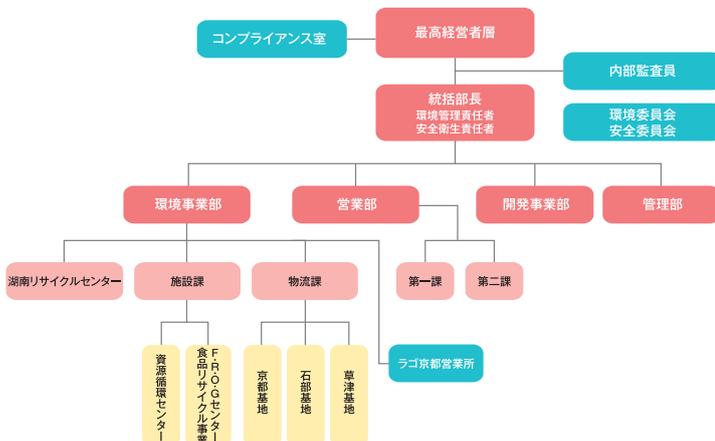
食品リサイクルを推進しています。

食品ロスは深刻な社会問題です。当グループのF.R.O.Gセンターで行っている食品リサイクルの量を増加させることで、環境への負担を軽減させます。2018年度は、2017年度の833tを大きく上回る1,225tの搬入があり、2年続けて目標を達成することができました。

職場環境の改善に取り組んでいます。

「KINKAN よくなるプロジェクト」ではスタッフ自ら社内の課題を発見し、課題解決と改善に取り組むことで、よりよい職場づくりを行っています。今年度は「熱中症対策のために工場内に扇風機やスポットクーラーを導入する」という案の提出があり、実行しました。

EMS 組織表



【適用サイト】

- 近畿環境保全㈱ 草津本社工場：滋賀県草津市青地町字六反田 196 番地
- 近畿環境保全㈱ 営業本部：滋賀県草津市野村 1 丁目 3 番 2 SK キューブ 2-B
- 近畿環境保全㈱ 環境事業部：滋賀県湖南市石部口 3 丁目 6 番 13 号
- 近畿環境保全㈱ 京都営業所：京都市南区上鳥羽角田町 55 番 3
- 近畿環境保全㈱ F.R.O.Gセンター：滋賀県湖南市石部口 2 丁目 277 番 1
- (株)湖南リサイクルセンター：滋賀県湖南市石部口 3 丁目 6 番 13 号
- (有)ラゴ本社：滋賀県草津市青地町字六反田 196 番地
- (有)ラゴ京都営業所：京都市南区上鳥羽角田町 55 番 3



コンプライアンスへの取り組み

安心・安全な職場・工場づくりを目指しています



火災対策

危険性の把握・防止・削減

当グループにとって最大の危険は火災です。仕事や作業の危険性を把握し、未然に防止し、危険性を削減する対策を行っています。万が一を想定し、緊急事態に対応するための対策手順を策定しています。また、スタッフ全員が手順どおりに実施できるよう、定期的に社内勉強会や訓練を行い意識の向上を図っています。また、火災の原因となる物（ライター、発煙灯等）が廃棄物に混入しないよう、現場と営業が連携してお客様へ搬入禁止物の周知を図っています。

2018年度の秋に湖南リサイクルセンター、資源循環センター及びらごの3か所にて消防訓練を実施しました。



事故防止 対策

安全委員会や安全パトロールの実施

事故防止のために、毎月1回安全委員会を開催しています。安全委員会は問題点を様々な面や立場から見て、解決方法などを共に考える委員会です。メンバーは環境事業部（物流グループ、施設グループ）、開発事業部、営業部、湖南リサイクルセンターの各担当で構成され、工場内・物流業務等、業務の中に潜む危険箇所を挙げ、改善策を決定していきます。

活動は定例会議のみならず、安全パトロールや勉強会の開催もしています。安全パトロールでは、週1回安全委員会のメンバーが各現場の見回りを行い、危険箇所の写真を撮ったり、改善されたところを確認したりしています。また勉強会は、各部署で月1回、社内全体では年2回開催されています。危険予知（KY）活動やリスクアセスメントについて学びます。

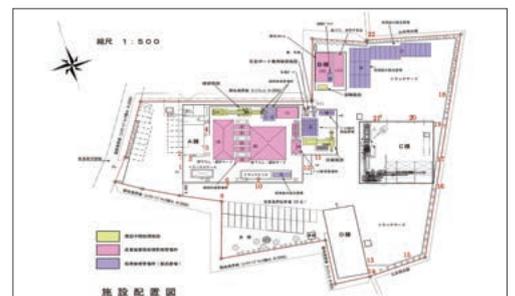


収集運搬の時に油漏れが発生した際、すぐに流出を防ぐことができる吸着セットを全車両に設置しています。

水害対策

大雨や洪水などを未然に防ぐ

湖南リサイクルセンターは河川に近く土地も低いことから、水害のおそれのある地域になっています。そのため、水害対策を行い、大雨や洪水などの際に発生する危険性を削減できるように心掛けています。事務所内のフロアの嵩上げ、設備の防壁の設置等を実施しました。また、災害時の行動マニュアルや工場内のハザードマップを作成し、災害を未然に防ぐように努めています。



【ターゲット】

11.6 2030年までに、大気の質及び一般並びにその他の廃棄物の管理に特別な注意を払うことによるものを含め、都市の一人当たりの環境上の悪影響を軽減する。

法律・条例
一覧（五十音順）

- 悪臭防止法
- 各種リサイクル法
- 火災予防条例
- 揮発油等品質確保法
- 計量法
- 建設業法
- 個人情報保護法及び
滋賀県個人情報保護条例
- 湖南省環境基本条例
- 滋賀県ごみの散乱防止に
関する条例
- 滋賀県生活排水対策の
推進に関する条例
- 消防法
- 浄化槽法
- 振動規制法
- 人権教育及び人権啓発の
推進に関する法律及び滋
賀県人権尊重の社会づく
り条例
- 水銀使用製品産業廃棄物
に関する廃掃法
- 石綿障害予防規則
- 騒音規制法
- 男女雇用機会均等法
- 電気事業法
- 特定外来生物による生態
系等に係る被害の防止に
関する法律
- 道路運送車両法
- 道路交通法
- 同和対策特別措置法
- NOx・PM法
- 廃棄物の処理及び
清掃に関する法律
- フロン排出抑制法
- 暴力団等排除条例
- 労働安全衛生法

遵守確認日

2019年2月26日

評価：

すべて遵守

【騒音レベルと振動レベルの調査結果と評価】

当グループ全社にて基準値をクリアできました

騒音レベル	近畿環境保全圏	株湖南RC	F.R.O.Gセンター	街ラゴ
規則基準	65dB	70dB	70dB	70dB
調査結果 (場所/No1)	55dB	54dB	58dB	48dB
(場所/No2)	56dB	58dB	58dB	58dB
評価	○	○	○	○

振動レベル	近畿環境保全圏	株湖南RC	F.R.O.Gセンター	街ラゴ
規則基準	65dB	70dB	70dB	65dB
調査結果 (場所/No1)	39dB	45dB	43dB	34dB
(場所/No2)	40dB	45dB	41dB	37dB
評価	○	○	○	○

【臭気測定の結果と評価】

当グループ全社にて基準値をクリアできました

騒音レベル	近畿環境保全圏	株湖南RC	F.R.O.Gセンター	街ラゴ
規則基準	12	敷地境界線 14		
調査結果 (場所/No1)	10未満	10未満	10未満	10未満
(場所/No2)	10未満	10未満	10未満	10未満
評価	○	○	○	○

【水質】

放流水に関してもデータ管理を行っており、年一回水質に関する調査を自主的に実施しています。

計量対象項目	単位	計量の結果		計量の方法
		近畿環境保全圏	株湖南RC	
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	0.5未満 (-)	0.5未満 (-)	環境庁告示第64号付表
大腸菌群数(デソ法)※	個/cm ²	42 (-)	0 (↓)	厚生省・建設省令第1号
水素イオン濃度		7.4 (↑)	7.0 (↑)	JIS K0102 12.1
(pH測定時試料温度※)	℃	21.7 (↑)	18.0 (↓)	JIS K0102 7.2
浮遊物質	mg/L	2.0 (↓)	10.4 (↓)	環境庁告示第59号付表
化学的酸素要求量	mg/L	5.1 (↓)	2.8 (↑)	JIS K0102 17
生物化学的酸素要求量	mg/L	5 (↓)	1 (↓)	JIS K0102 21 及び 32.3
燐含有量	mg/L	0.1未満 (↓)	0.1未満 (-)	JIS K0102 46.3
窒素含有量	mg/L	1.0 (↓)	0.5未満 (-)	JIS K0102 45.2

※印項目は、計量証明対象外項目です。() は昨年度と比較。

安心・安全への取り組み

当グループの事業で環境への負担を把握するために、事業を行っている4ヶ所にて廃棄物の処理および収集運搬の際に発生する騒音・振動・臭気に対して毎年調査を実施しています。騒音規制法・振動規制法・悪臭防止法の基準をもとに調査し、基準値以下となるよう努力しています。又、当社は特定施設にはなりませんが、水質汚濁防止法の項目に沿って自主的に水質も測定しています。

2018年度の調査が5月17日と5月18日に行われ、基準値を超えずにクリア出来ました。また、法律と条例を遵守しているかどうか、毎年2月に確認しています。2018年度の確認は2019年2月26日に行い、全ての法律と条例を遵守していると確認できました。

法規制の遵守

事業者の産業廃棄物はその事業者自らが処理しなければならない原則がありますが、処理ができない場合は、廃棄物処理業者に委託することが出来ます。

当グループは排出事業者の皆さまから、収集運搬と処分を委託していただいています。様々な地域における収集運搬業許可と処分業許可を取得し、法を遵守した適正な処理を行っている上、マニフェストによって廃棄物の流れを最初から最後まで管理しています。

追手門学院大学 国際教養学部 国際教養学科 准教授

藤川 武海 氏



【プロフィール】

1975年、京都府木津川市出身。豪州西シドニー大学（University of Western Sydney）経済学博士（Ph.D.）。同大学講師、マレーシアUTAR大学ビジネス・ファイナンス学部初代学部長、国立マレーシア科学大学経営大学院上級講師、追手門学院大学経済学部講師を経て現職。専門は行動経済学・東南アジア経済。マレーシア現地企業のコンサルタントを経験し、現在、国際経済心理研究学会マレーシア国代表。社会福祉法人の評議員も務める。

「温故知新」

キンカングループが長年取り組まれているCSR活動に関する報告書を読ませていただき「温故知新」の精神について改めて見つめ直すことができました。

「温故知新」とは？

社会が抱えてきた様々な課題とそれに対する先人の活動、言行からその根底に流れる真理を得て、新しい知識や見解をひらくこと。また、過去の活動を研究し、そこから新しい知識や見解を得ること。

キンカングループの企業である近畿環境保全株式会社が、わたくしが産まれた1975年に設立されたとのことで、今年で設立44周年*でしょうか。歴史的に社会が抱えてきた環境問題、それについての課題に対して、長年取り組まれてきたキンカングループの努力に敬意を表します。

企業理念

キンカングループの企業理念を語る上で重要な要素は「環境的コミュニケーション」です。長年にわたり取り組まれてきたキンカングループの理念に深く共感しました。この要素に登場する「環境」・「コミュニケーション」という二つの言葉について考えてみましょう。

われわれが企業に訴える取り組みのひとつに「本業を通じて環境への貢献」があります。報告書を拝見して、キンカングループが環境および環境経営を実現する技術の開発と、それにまつわる諸活動に積極的に取り組まれてきたことがわかりました。このことにも心から敬意を表したいと思います。

コンプライアンス

キンカングループは事業推進のみならずコンプライアンスの面でもリーダーシップを発揮されています。多くの企業でコンプライアンスの重要性が叫ばれている中、「コンプライアンス＝法規制の遵守」と主張する声があります。しかし、キンカングループでは、「コンプライアンス＝法規制の遵守」だけでなく、地域において認識されている地域社会のルールにも則って事業活動と地域社会への貢献を行っています。

地域社会での雇用促進

キンカングループは地域社会での雇用促進に対して努力されています。ダイバーシティ（多様性）というスローガンの下、性別・国籍・ハンディキャップに固執することなく活躍できる企業運営をしています。多種多様な価値観や環境の違いを、関わる人たちみんな理解し、お互いに認め合うことができる体制をとっています。

会社への提言と希望

これからもキンカングループのスタッフ一人ひとりが多種多様な知を活用しながら事業活動・社会貢献活動に組み込み、さまざまな社会課題の解決に寄与されることを切に願います。環境経営を巡る情勢は変化しています。当然、多様なニーズに応える事業活動・社会貢献活動が今後ますます求められます。

キンカングループが長年培われてきた技術と、これから新たに取り組まれる技術を融合化し、事業活動・社会貢献活動に対し持続的かつ継続的な貢献をされることを切に希望しながらペンを置かせていただきます。

*近畿環境保全株式会社の設立は1975年なので本年で44周年、KINKANGROUPの創業は1962年なので57周年になります。

E-COMMUNICATION PARTNER

KINKAN GROUP

company profile ▶▶



近畿環境保全株式会社
有限会社ラゴ
キンカンビジネスアソシエイツ株式会社



株式会社湖南リサイクルセンター

KINKAN GROUP



事業エリア

当グループは産業廃棄物収集運搬、特別管理産業廃棄物収集運搬、事業系一般廃棄物収集運搬、産業廃棄物と一般廃棄物の中間処理業の許可を幅広く取得しています。現在、許可エリアの内、14 府県においては優良認定をいただいています。他の県においても許可更新の際、優良認定を申請していきます。優良産業廃棄物処理業者として厳しい基準に適合しながら、お客様により安心していただけるようなサービスを提供できるよう、日々の適正処理に取り組んでいます。

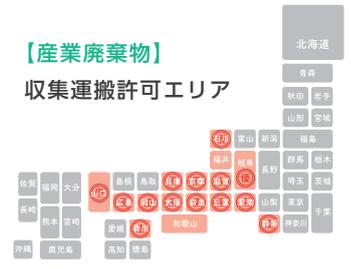


許可地域

産廃情報ネット「さんぱいくん」(<http://www2.sanpainet.or.jp/zyohou/index.php>) ▶
 当社の最新の許可情報については、web 上で随時公開いたします。

燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	ゴムくず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	特管 腐食性廃酸	特管 腐食性廃アルカリ	特管 特定有害廃酸	特管 特定有害廃アルカリ	特管 特定有害廃石棉等	特管 廃油
-----	----	----	----	-------	----------	-----	-----	------	--------	------	------	-----------	-----	------	------	----------	-------------	-----------	--------------	-------------	-------

【産業廃棄物】 収集運搬許可エリア



▼産業廃棄物・特別管理産業廃棄物(特管)…収集運搬作業：近畿環境保全(株)

石川県	福井県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	京都市	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	岡山県	広島県	山口県	香川県
○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○

○…産業廃棄物収集運搬業 ◎…積替え保管の許可もある品目 ※普通産廃は石棉含有産業廃棄物を含む

優良産業廃棄物処理業者認定 制度を活用して適正 処理を進めていきます

優良産業廃棄物処理業者認定制度とは、通常の許可基準より厳しい基準に適合した優良な産業廃棄物処理業者を、都道府県・政令市が審査し認定する制度です。

- ① 遵法性
- ② 事情の透明性
- ③ 環境配慮の取り組み
- ④ 電子マニフェスト
- ⑤ 財務体質の健全性

※詳しくは環境省 HP にて

現在 優良認定がある府県

- 石川県、岐阜県、静岡県、愛知県
- 三重県(特管除く)、大阪府(特管のみ)
- 兵庫県、奈良県、広島県(特管除く)、山口県
- ◎滋賀県、◎京都府、◎岡山県、◎香川県

▼一般廃棄物…収集運搬作業：近畿環境保全(株)

愛知郡愛荘町、大津市、草津市、彦根市、守山市、野洲市、栗東市、湖北広域、京都市(有ラゴ)

許可品目

new 後 ▼中間処理業：近畿環境保全(株) 草津工場

破 碎	廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラス・陶磁器くず
-----	------------------------------

new 後 ▼中間処理業：近畿環境保全(株) F.R.O.G センター

選 別	汚泥(有機性汚泥に限る)、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、動植物性残渣、金属くず
一般廃棄物処分量	食品不要物(野菜くず、パン類、麺類、弁当類、液体食品類)

▼中間処理業：(株)湖南リサイクルセンター

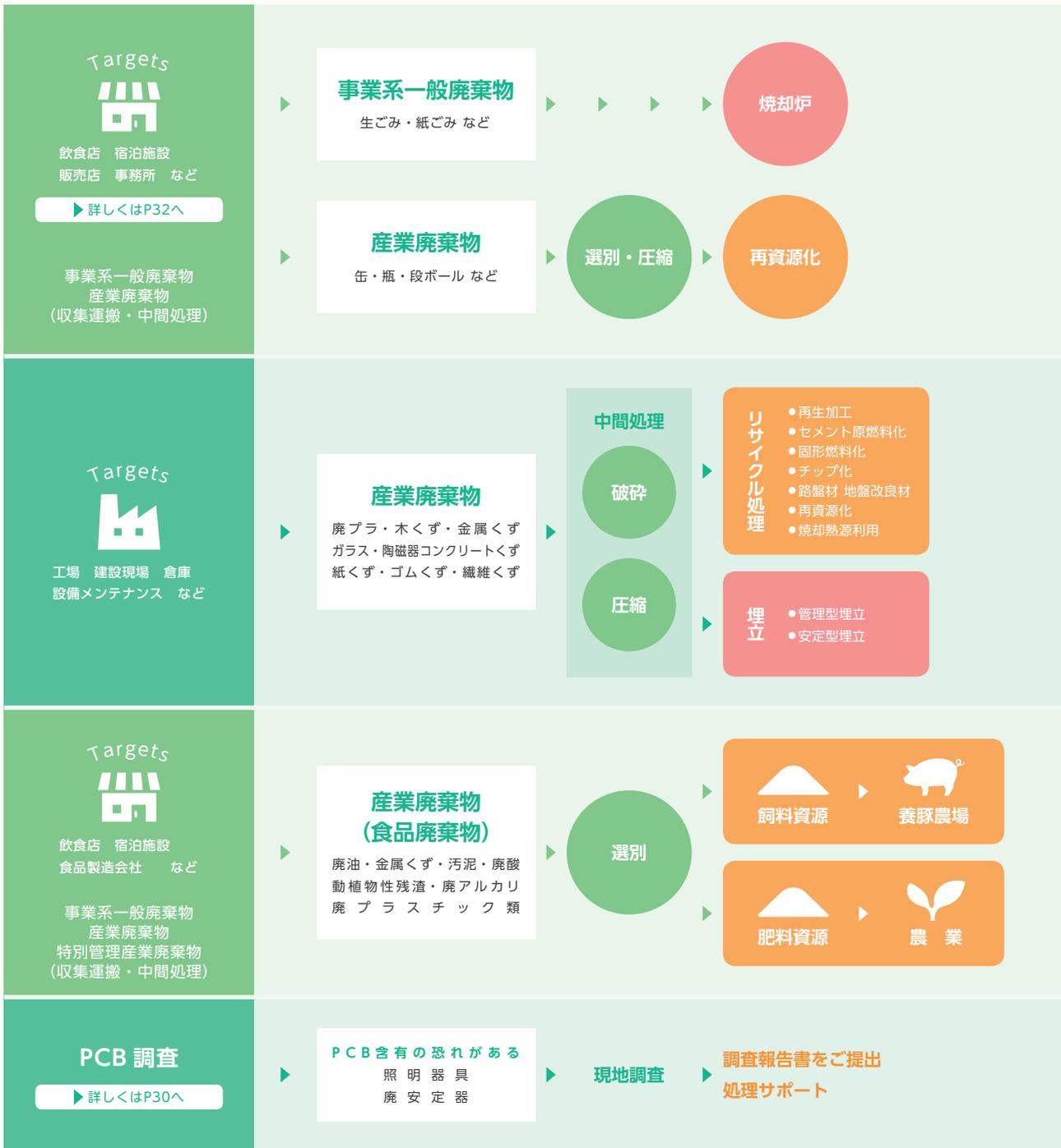
破 碎	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラス・陶磁器くず、がれき類
圧 縮	廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、金属くず
一般廃棄物処分量	粗大ごみ、不燃ごみ、木くず、剪定木、刈草

【一般廃棄物】 収集運搬許可エリア

- …滋賀県
- …京都市



※2019年9月現在



環境サービス

Targets
企業・個人さま

らくピカ

らくピカ
くらし、スッキリ

当グループの個人様向けサービスです。お家のことなら何でもお任せ！

- 戸建解体
- ハウスクリーニング
- 庭のお手入れ
- リフォーム

滋賀でんき

電気使用で地域に貢献！電気の質はそのまま、低価格な電気代を実現します。

▶詳しくはP31へ

機密書類

ファイルに綴じたままで大丈夫！面倒な分別作業が不要な機密書類処分サービスです。

▶詳しくはP33へ

グリストラップ

飲食店向けのグリストラップ洗浄サービスです。

▶詳しくはP33へ



LIFE is COLORFUL !

キンカンビジネスアソシエイツ



廃棄物処理業の現場にはもっと色々な人たちが働ける環境としての可能性がある、という思いから、環境業界と福祉業界の橋渡しのポジションの法人を設立致しました。キンカングループが推進するサステナビリティとダイバーシティですが、そのダイバーシティ側を担う重要な組織です。今後はさらにグループ全体の下支えができるよう、環境・福祉・教育などの分野に挑戦していきます。



グループ会社設立について

「多様性」というコンセプトを具現化する組織として、キンカンビジネスアソシエイツ株式会社を設立いたしました。この会社では、性別・国籍・ハンディキャップなどのもつ「違い」を関わる人たちがお互いに理解し、認め合うことができる運営を目指しています。

アソシエイツには「仲間・同僚」という意味があり、まさしくグループ内外の仕事仲間として運営していきます。現在はグループ内の仕分け作業など、軽作業をお手伝いしている「エコパートナー事業部」、外部のフランチャイズ事業に出向している「FCサポート事業部」があり、その形態は日々進化しています。グループ内では唯一の廃棄物処理業の許可を有しない法人として、グループ全体の下支えをしています。

業務内容

【エコパートナー事業部】

現在は、障がい者雇用を中心に、キンカングループ内の仕事をお手伝いしています。特に草津資源循環センターでは、缶、ビン、ペットボトルの選別や、小口産廃のエコ回収BOXの仕分けなどを、キンカンの社員とともに携わってもらっています。



【FCサポート事業部】

多くの女性を雇用し、グループ外の飲食系フランチャイズに出向しています。今後はその事業の多店舗展開や、別事業へのサポートに向けて、更なる雇用の拡大が見込まれます。女性や外国人、ハンディキャップをもつ方々への機会の提供が増えるように情報開示をまいります。



従業員コメント

瀬戸口 達也

(エコパートナー事業部 執行役員)



「障がい者を一般企業へ！」との就労支援を担う側からの思い、また企業側においてもCSRへの関心の高まりから積極的に障がい者雇用に取り組んでいる企業も多いと存じます。しかし、就職をしたものの約半数以上の障がい者の人たちが再び福祉施設・福祉的就労施設に舞戻ってくる現実があります。長年にわたり、廃棄物業界と福祉業界（就労施設等）に従事しておりました関係上、その難しさを痛感しておりました。

なぜ、一般就労が難しいのか。大きく二つの要因があると感じております。一つは、送り出し側（福祉的就労施設等）の問題として、就労準備が整っていない状態での就労の実施が挙げられると思います。つまりは、しっかりとした就労に対しての基本的な生活習慣が習得されていないと思われる点です。二つ目は受け手側（企業等）の問題として、障がい者とどう向き合えばいいかわからない点だと思えます。

この二つの課題に真摯に向き合い、送り出し側（福祉的就労施設等）の皆様に対しては企業が求めている物をお伝えし、常に連携を図ってまいります。われわれ受け手側（企業側）としては、働きやすい環境づくりのために、以下3つのことを実践してまいります。①ジョブコーチを専任することにより、それぞれの業務支援計画を作成し、実践するよう導くこと。②障がい者職業生活相談員を配置し、生活面からもサポートすること。③グループ会社全社員を対象とした「しごととサポーター養成講座」を受講するよう啓蒙を行い、障がい者の特性を理解し配慮してもらうこと。

上記の取り組みを実践することにより、少しでも障がい者であるかないかを問わず、合理的な配慮をすることにより、このグループで就労するすべての人々が生き生きと働ける環境を創り上げるため、邁進する所存です。

住田 秀人

(エコパートナー事業部 主任)



この会社には、今年の1月の新規事業の立上げというタイミングから働いています。現在は、近畿環境保全の草津資源循環センターにて、障がい者の方々の就労を支援させていただいております。以前は、別の福祉施設で障害福祉に携わっておりましたので、その経験等を活かしつつ他事業所様とも連携しながら、多方面からの支援を心がけております。職場適応援助者（ジョブコーチ）の資格も取得し、障がい者の方々の自立をサポートするとともに、自然に働けることができるナチュラルサポートを目指してまいります。

李 昌寿

(FCサポート事業部)



ご縁があり入社後、飲食業に外向しました。ほとんど経験のない私が、新規事業に挑戦し、様々な価値観を持つ人達と働く魅力に気づきました。

大切なのは一緒に働く仲間が、やりがいや楽しさを感じる職場となる事です。よい雰囲気作りをすれば、お客様へのサービスに反映すると感じています。

学生や主婦、年配の方々が活きいきと活躍できるよう全員が力を合わせ、気兼ねなく意見交換をし、刺激しあえる職場を目指します。

長田 慎也

(エコパートナー事業部)



この会社に今年の5月より縁があって就職させていただきました。主な仕事は、缶・ビン・PETボトルの選別作業や段ボール箱で回収している廃棄物の分別作業をしています。ここの職場は、僕の障がいのこともよく理解していただいております。楽しく働ける環境に感謝しています。これからもずっと続けたいと思っています。

下村 和孝

(FCサポート事業部)



活きいきと老若男女が共に働ける職場と環境を意識しています。機転のきくスタッフの対応は感動を呼びます。職場の年齢層も幅広いので、みんなが接客の楽しさを感じて動き、お互いが刺激を受け、笑顔で対応する事でリピーターを増やせる努力をしています。

いつも笑顔を忘れず、お客様満足度を第一に、愛されるスタッフを育成します。



7.1 2030年までに、安価かつ信頼できる現代的エネルギーサービスへの普遍的アクセスを確保する。

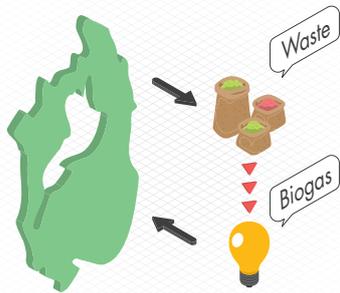


バイオガスプロジェクト

バイオガス施設が地域のハブとなり、自治体や滋賀県内の製造業、農業や観光業界と連携し、新しい経済価値を創出します。



プロジェクトのポイント



地産地消

滋賀県内から排出される食品廃棄物を原料として、バイオガスを発生させます。そのガスを使った発電はまさしくエネルギーの地産地消となりえる事業です。



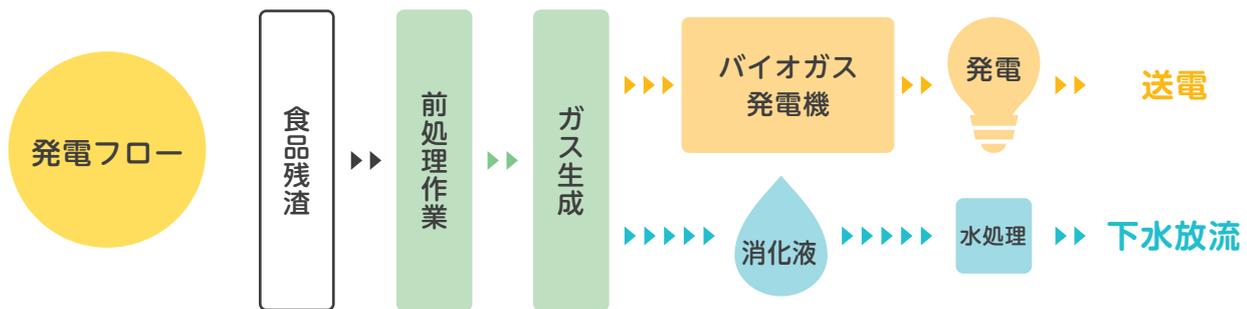
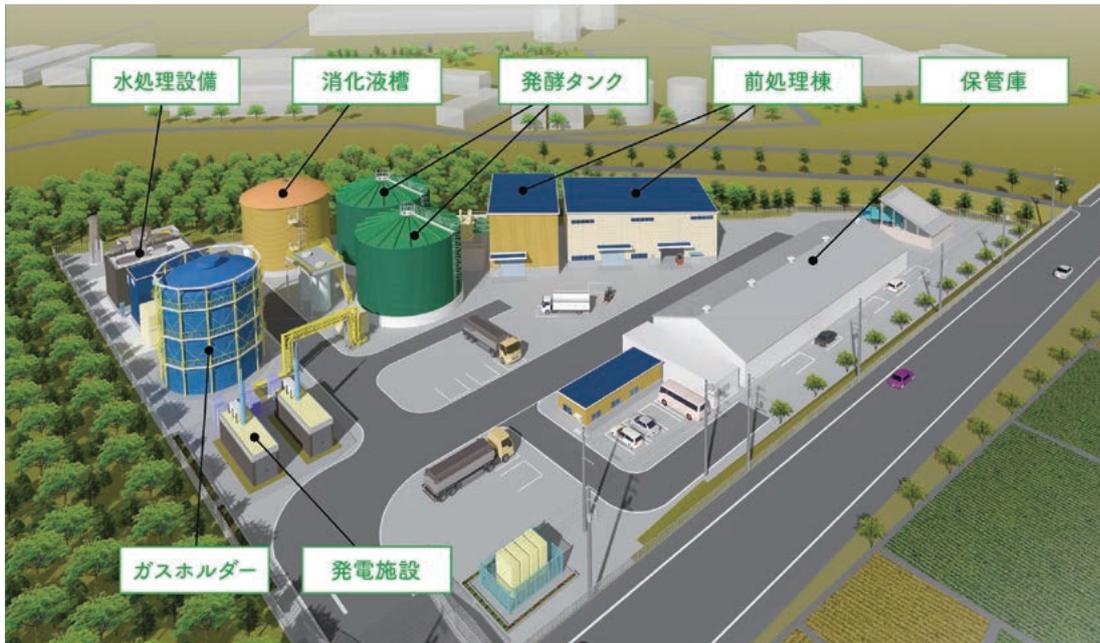
地域雇用

施設建設やその他の付帯工事において、地元企業と積極的に取引を進めます。また、食品廃棄物は排出する企業、施設内に廃棄物を運搬する企業、施設で働く従業員に関しても、地元優先を心がけます。



地域活性

施設を環境教育の場として、子どもたちや見学者を積極的に受け入れます。また地元との環境保全協定や防災協定を締結し、安心安全なまちづくりにも貢献していきます。



①分別

プラスチック、紙・金属などメタン発酵に適さない包装容器などを分別し、さらに原料をメタン発酵に適した状態に調整します。また、発酵不適合物も最適な資源循環を行うために洗浄・破砕などを行います。

②発酵

36℃～40℃の発酵温度に調整をされたタンク内で、メタン菌が嫌気性発酵を行います。嫌気状態で活性化されたメタン菌が有機物を分解する際の代謝物がバイオガスとなります。

③水処理

メタン発酵後の消化液は、液体肥料としての活用もなされますが、当工場では、当面は微生物処理によって法に定められた環境基準（放流基準値）以下まで浄化し、下水へ放流いたします。

④発電

発酵タンクから発生したバイオガスは硫化水素や水蒸気などの発電機へ悪影響を及ぼす物質も含まれています。それらを除去したガスをバイオガス専用のガスエンジンで電気エネルギーと熱エネルギーを生み出します。電気は再生可能エネルギーの電源として供給され、熱は場内で有効利用されます。

施設概要

施設名：(仮称) 湖南バイオガス発電所
 所在地：〒520-3114 滋賀県湖南市石部口2丁目227-1
 地目：工業地域
 面積：約10,000平米
 運営主体：合同会社湖南バイオガス発電(案)
 処理対象：産業廃棄物(動植物性残渣・汚泥・廃酸・廃アルカリ・廃油)
 処理量：日量60トン

発電機出力：660kWh
 (年間約450万kWh、一般家庭約750世帯分)

SPC方式でのプラント運営を計画中。許認可取得は近畿環境保全株式会社で手続き中であり、2019年11月の都市計画審議会にて、審議予定。



PCB 調査を通してリスク回避とコスト削減を実現します。



PCB調査・LED化・省エネ事業

PCB 含有の恐れのある照明機器等の管理は出来ていますか？

現在、全国の古い施設の蛍光灯・水銀灯の安定器が破裂し、PCB が漏洩する事故が多発しています。PCB の処分期限が迫っている中、我々は全数調査・分別調査を通して PCB 問題の解決を図っています。また、水銀使用製品の規制が厳格化され、廃棄管理が規制されています。さらに、2019～2021 年の間で蛍光灯照明器具・水銀灯の生産は終了します。コスト削減のため PCB の調査と LED 化工事の一元化をおすすめします。

1977年(昭和52年)3月以前の建物の場合、 PCB含有安定器が使用されている可能性があります



*PCBは電気機器の絶縁油等として広く使われてきましたが、有害であることが判明したため、1972年以降は製造や新たな使用は禁止されました。

PCB

Poly Chlorinated Biphenyl (ポリ塩化ビフェニル) の略称で、ポリ塩化ビフェニル化合物の総称であり、毒性が極めて高くダイオキシン類として総称されるものの1つとされています。電気機器の絶縁油、熱交換器の熱媒体、ノンカーボン紙など様々な用途で利用されました。

照明器具の全数調査

敷地内に PCB 含有の疑いがある照明器具は、使用中も含め期限までに必ず処分しなければなりません。また、「該当なし」と報告されていた施設でも PCB 漏洩事故が多発しています。国は該当なしと確認されている施設も再度、照明機器などの全数調査を行うよう求めています。



廃安定器等分別調査

保管されている廃安定器を PCB 品と非 PCB 品に確認・分別する調査を行うことで、大幅な費用削減が見込めます。また JESCO 搬入可能なドラム缶への詰め替え、荷姿登録などのサポートもいたします。



【事例】某市役所

▶安定器類202個から非PCB品を124個分別

処理コスト比	処理コスト削減効果
無分別 8,028,720円	7,629,552円
分別後 399,168円	

その他業務

低濃度 PCB 廃棄物の収集運搬、処理、分析業務等 PCB 廃棄物に関するあらゆる問題を解決するためのサービスをご提供いたします。

当社は、「一般社団法人日本 PCB 全量廃棄促進協会」に加盟しています。PCB 使用製品の全数調査、分別、処理を進め、保管事業者の負担軽減を図り、一日も早い PCB の全量廃棄を目指し安心して暮らせる環境の確保に貢献いたします。

「蛍光灯、ランプ類」は平成29年10月の法改正で 「水銀使用製産業廃棄物」となり保管・処分が厳格化されました

【破損厳禁】
他の廃棄物との
混合不可

許可のある
専門の
処理施設のみ

「蛍光灯、ランプ類」は平成29年10月の法改正で水銀使用製品産業廃棄物となり保管・処分が厳格化されました。蛍光灯照明器具は2019年3月で国内主要メーカーの生産が終了し、水銀灯ランプは2020年以降製造禁止になります。そのため蛍光灯と比べて光源寿命も長く消費電力の削減も見込める。また廃棄の際に特別な保管方法や処理を必要としないLEDへの切り替えをおススメいたします。

PCB調査とセットでLED化のご提案 ～ LED化をおススメする5つの理由 ～

- ① 水俣条約の施行で水銀使用製品の規制が厳格化されている
- ② 使用中の蛍光灯安定器の調査をしなければならない
- ③ 高濃度PCBの処理期限が決まっている
- ④ 1977年3月以前に建設または改修した建物を所有している
- ⑤ 蛍光灯証明器具の生産終了、水銀ランプの製造、輸出入の禁止



「PCB調査・安定器取り外し工事」セットでLED化のご提案

- ① 全数調査との分割発注の手間を減らし一元化
- ② 照明のLED化で電気使用量を削減
- ③ コストシュミレーションを行い、減価償却の試算表を作成
- ④ LED照明は安心の国内メーカー製
- ⑤ 取り外した蛍光灯・ランプ類は適正処理

高濃度PCB 全数調査

【照明器具を全数調査】



水銀使用製品産業廃棄物は適正に処理

● 適正な保管 ● 処理の委託 ● 収集・運搬 ● 処分・再生

水銀使用製品
リサイクル
(蛍光灯)

アルミスクラップ ▶ アルミ原料
カレット ▶ グラスウール・ガラス工芸品
セメント原料
蛍光粉 ▶ レアアース原料



滋賀でんき

滋賀でんきとは株式会社ハルエネが提供し、滋賀エナジー株式会社が販売する新電力の地域創生プランです。電気の質はそのまま、低価格な電気代を実現しております。また、電気販売の収益の一部を自治体に寄付や支援を行い、地域の活性化を目指しております。当社は営業代理店として活動しております。

対応エリア
=滋賀県全域



お客様の困ったを解決する！

KINKAN GROUP の 環境ソリューションサービス



弊社では、オフィスや店舗から排出される様々な廃棄物に対し、ワンストップでサポート致します。廃棄物処理のプロとして、また環境ビジネスのリーディングカンパニーとして、お客様の様々な課題を解決し、管理を行う手間を削減し、安心安全でクリーンな職場環境を応援します。



事業系一般廃棄物の回収

オフィスや店舗などの事業所から排出される一般廃棄物の定期回収を行います。弊社では滋賀県の10市町村と京都市が回収許可エリアになります。また許可エリア以外の地域でも協力業者との連携での回収サポートします。

産業廃棄物の小口回収サービス「エコ回収BOX」

▶ コンプライアンスについてはP16へ

エコ回収BOXは段ボール1箱から回収にうかがう産業廃棄物の小口回収サービスです。ご購入いただいた「エコ回収BOX」に不用品を入れていただければ、当社専用車両で回収に伺います。

コンプライアンス もばっちり！

回収した不用品は、自社工場にて適正に処理されます！



家電・食器もOK!

家電製品や食器類など処分しづらい不用品も回収いたします！

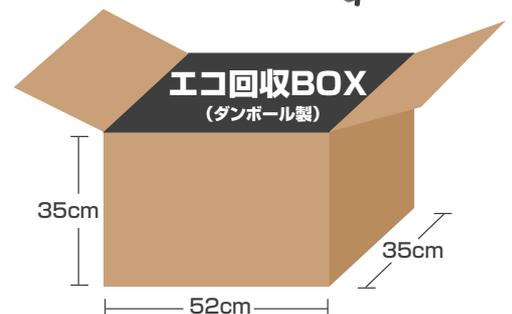


コンテナ要らず!

電話1本で1箱から回収に伺いますので、不用品を置く場所がない方に大変便利！



／ こんなものが回収できます！ ／





害虫駆除システム with

全自動システム化で閉店後に週2回稼働を実施することで高い駆除率を実現し、害虫を見ない環境作りをサポートします。



point
1

効き目が早い ひと晩で分かる即効性!

withの薬剤はPM2.5 (2.5 μ) よりも遥かに粒子の小さい大きさ (.2 μ) で処理しますので、その場にいる害虫だけでなく、奥底の薬剤が届きにくい場所にも効果を発揮します。
また、液体散布のしにくい場所 (冷蔵庫や製氷機などのモーター周り等) にも効力を発揮し駆除を行うことができます。

point
2

確かな安全性

医療承認番号21700APZ00812000

withはより安全を追求したセーフティ機能を搭載。停電やコンセントが抜けても、タイマーの誤操作を自動制御、稼働時はランプ点灯でアラーム音が鳴るなど、人体への安全性を考慮し、医療品承認を得ている薬剤を使用した害虫駆除システムです。

point
3

置くだけ簡単 閉店後、自動駆除を開始

withは閉店後に作動させるようにタイマー設定で自動駆除させるため、駆除のために、休日返上して店を開けたり、面倒な後片付けをする必要はありません。また、火災報知器やガス警報機などに反応することはございません。

point
4

低価格 (定期メンテナンス) 故障も無料で修理・交換

withはわかりやすい料金設定を採用。薬剤交換とメンテナンスはもちろん、期間中に機器が故障しても無料で修理・交換を行います。
※解約・違約金などは一切かかりません。

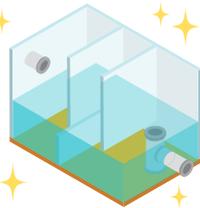


グリストラップの洗浄サービス

月に1度の定期プランなどお客様のご要望に併せ、グリストラップの清掃を行い産業廃棄物として適正に処理します。

トラップ洗浄
排水管洗浄

プロに頼んで
ピカピカにしよう!



汚泥の引取

汚泥は産廃なので
適正に処理しよう!



機密書類リサイクルサービス

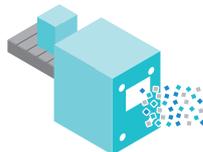
個人情報や機密情報などを管理することは企業の責務です。搬入会社はプライバシーマークやISO/IEF27001を取得しているのでセキュリティ体制は万全。処理終了後はリサイクル証明書と溶解証明書を発行するので安心です。また手間な分別作業もなくファイルやバインダーに綴じたままでも段ボールに入れて頂くだけで引取ります。

機密書類をファイルに綴じたまま
ダンボールに入れるだけ!



とってもカンタン!

ダンボール未開封のまま
破砕・圧縮



プライバシーマークを取得している
工場に安全に処理されます



溶解処理で資源にリサイクル

紙は再生紙に、金属類は製鉄原料に
その他はボイラー燃料、セメント原料へ



最適な車両を手配してお客様の元へ

当社では、万が一の事故を防ぐため出発前の事前チェックでドライバーの身だしなみや健康状態の確認・車両の点検を行います。廃棄物の引き取り後は、クラウド型のデジタコやGPS等の運行情報システムにより廃棄物の適正運搬及び安全運転管理を実現しています。お客様から委託された廃棄物は契約に基づき、品目や性状によって適正な処分先へと運搬します。



廃棄物に合わせた、運搬方法を提案 廃棄物の種類に合わせた多彩なコンテナと、最適な車両を手配し、お客様のもとへ伺います。

保有運搬車両
お客様のニーズに幅広く対応できる充実のラインナップ

01
アームロール車
台数：10t (3台)、9t (3台)、4t (7台)、3t (1台)、2t (2台)



当グループのスタンダード車両です。荷台がコンテナになっていて、そのまま降ろして設置できます。

02
パッカー車
台数：9t (1台)、4t (6台)、3t (12台)
※計量器付10台



圧縮型の積み込み車両です。重量が軽く、圧縮できる廃棄物を大量に詰め込めます。

03
平ボディ車
台数：9t (1台)



小コンテナやフレコンバッグなどの積み合わせができます。

04
15t 低床 WING 車
台数：15t (2台)



一度に大量の荷物を運べます。段積み、リフトでの積み込みができます。小コンテナやフレコンバッグなどの積み合わせにも適しています。

05
4t WING 車
台数：4t (1台)



木パレットやフレコンバッグなどの積み合わせができます。

06
ダンプ車
台数：10t (3台)



中間処理後の廃棄物を最終処分先に運ぶための車両です。一度に大量の廃棄物を運べます。

07
3t アルミバン車
台数：3t (1台)

08
ユニック付平ボディ車
台数：4t (1台)

09
2t アルミ車・軽トラック
台数：各2台

10
冷蔵冷凍車
台数：3t (1台)



廃棄物の処理方法に合わせた工場へ

廃棄物の再資源化や適正処理をするには、個々に対応できる専用の施設設備が必要です。当グループは、幅広い廃棄物に対応できるように様々な処理施設を備えています。

搬入・計量

廃プラスチック類 金属くず 紙くず 木くず
ガラス・陶磁器及びコンクリートくず など



異物確認

荷下ろし前に許可以外の品目が
混入していないか目視で確認



選別

細かな手選別により
各リサイクルルートへ



湖南リサイクルセンター

産業廃棄物、一般廃棄物の処理とリサイクルを行っています。廃プラスチック類、木くず、紙くず、繊維くず、ガラス・陶磁器・コンクリートくずなど8品目を取り扱っています。適正な選別、中間処理を行い、マテリアルリサイクルやサーマルリサイクルに繋がります。

F.R.O.Gセンター

2013年に新設した食品リサイクル施設です。食品の製造・流通・消費の各段階で生じる食品廃棄物を飼料や肥料としてリサイクルするために、破袋・分別処理を行っています。

資源循環センター

リサイクル処理に特化した施設です。段ボールや古紙、空き缶等の圧縮機や、発泡スチロールの熔融機を備えています。それぞれに適した処理をした後、有価物として売却しています。

協力業者

当グループで処理できない廃棄物は、協力会社とのパートナーシップにより、適正な処理先を提案します。



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



KINKAN GROUPは
国連の持続可能な開発目標 (SDGs) に賛同しています

KINKAN GROUP 公式ホームページ

www.kin-kan.co.jp

本誌に載っていないサービス案内や採用情報などを掲載！
最新ニュースも随時更新しているのでぜひチェックしてください



お客様アンケート

<https://forms.gle/9utWjNvVc8s3uZgw7>

KINKAN についてのご意見をお寄せください。

